

営農指導員の ワンポイントアドバイス 番外編

このコーナーは、営農指導員から農業のちよつとしたこつをお知らせしていますが、今回は作った野菜などを出荷できる農産物直売所「モーモー物産館」を紹介しませう。

モーモー物産館へ 出荷してみませんか？

中国横断自動車道尾道松江線口和ICを降車して、一般道との合流点を右折すると、モーモー物産館に到着します。

モーモー物産館は、口和地域の新鮮な野菜や、漬物などの加工品の販売を行っています。出荷者が当番制で直売所に立ち、販売する野菜には出荷者の写真を掲示するなど、来場者とのふれあいを大切にし、顔の見える安全・安心な商品の販売に取り組んでいます。

また併設している「おおつき亭」では、うどんやおにぎりなどを提供しています。定期的を訪れる人がいるだけでなく、県外からの来客も多いなど、皆さんに愛される施設になっています。

出荷するには

モーモー物産館では、出荷者を募集しています。特別な要件はありませんが、次の内容をご理解の上、まずはお気軽にご相談ください。

- ▼出品会費 500円
- ▼販売手数料 無料
- ▼販売価格 出荷者が設定
- ▼商品管理 出荷者が管理
- ▼販売 出荷者による当番制
- 営業時間 8時〜17時
- 定休日 毎週木曜日



問い合わせ

口和町生産者組合事務局
☎0824・89・2200
口和支所地域振興室
☎0824・87・2113

庄原が好き

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーを、シリーズで紹介しています。まちを知り、地元の新魅力を発見することで、人を、まちを、もつと好きになりますように。



念願だった口和町での
生活を楽しむ
中平 愛さん

生まれ育った口和町に帰りたいと思いつき、念願叶った中平さんに現在の生活などを聞きました。

持ち続けた思い

私は5年前、大阪から生まれ育った口和町に帰ってきました。関西の大学に進学し、結婚してからは夫の仕事の関係でいろいろな地域に移り住みましたが、短い時には1年未満で転勤になりました。いつ引越しになるか分からないので、荷物はいつも段ボールに入れたまま必要な時に取り出して使う生活をしていました。

転勤族だった私たち家族を温かく迎えてくれた地域もあれば、何年経っても馴染めなかった地域もあります。いろんな地域に住んでみましたが「ここは私が住む場所ではない。いつか口和に帰りたい」という気持ちをずっと持っていたように思います。

口和に帰る

口和の実家は、しばらく空き家になっていましたが、母が掃除や風通しに帰り、いつでもまた住めるように守ってくれていました。その役目を私が受け継いだ頃から、口和に帰りたいという気持ちがより一層強まったと思います。

夫には、はつきりと伝えていませんでしたが、どうやら私の気持ちが分かっていたようで、実家をリフォームし、夫の定年退職後に、口和へ帰ってきました。

現在は、草が生えていた畑を耕して野菜を育てたり、自治会の活動に参加したりしています。初めてのことも多く、右往左往しながら日々過ごしていますが、こちらに住んでから私の表情が柔らかくなったと夫も喜んでいました。

そして、借家住まいから持ち家ができたことで、子どもたちが、以前より頻繁に私たちのところへ帰ってくるようになったことがとてもうれしいです。

問い合わせ

自治定住課定住推進係
☎0824・73・1257